

Cisco TelePresence エンドポイント デバイスの 多重脆弱点

Critical	アドバイザーID : cisco-sa-20110223-telepresence-cts	CVE-2011-0378
	初公開日 : 2011-02-23 16:00	CVE-2011-0379
	バージョン 1.0 : Final	CVE-2011-0372
	CVSSスコア : 10.0	CVE-2011-0373
	回避策 : Yes	CVE-2011-0376
	Cisco バグ ID :	CVE-2011-0377
		CVE-2011-0374
		CVE-2011-0375

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

多重脆弱点は Cisco TelePresence ソリューションにあります; ソリューションの各コンポーネントは自身のアドバイザーで独自に当たります。このアドバイザーによっては Cisco TelePresence エンドポイント デバイスが当たり、次の脆弱性を詳述します:

- 非認証コモン ゲートウェイ インターフェイス (CGI) アクセス
- CGI コマンド インジェクト

- TFTP 情報の漏えい
- 悪意のある IP アドレス インジェクト
- XML リモート プロシージャ コール (RPC) コマンド インジェクト
- Cisco Discovery Protocol (CDP) リモート コード 実行

他の Cisco TelePresence アドバイザリの重複した問題識別

Cisco Discovery Protocol (CDP) リモート コード 実行脆弱性は Cisco TelePresence エンドポイント デバイス、マネージャ、Multipoint Switch および Recording Server に影響を与えます。各コンポーネントと関連している問題は各々の関連するアドバイザリでカバーされます。これらの問題のための Cisco バグ ID は次の通りです:

- Cisco TelePresence エンドポイント デバイス (CSCtd75754)
- Cisco TelePresence Manager (CSCtd75761)
- Cisco TelePresence マルチポイント スイッチ (CSCtd75766)
- Cisco TelePresence Recording Server (CSCtd75769)

このアドバイザリは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20110223-telepresence-cts> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

影響を受けたソフトウェアのバージョンを稼動している次の Cisco TelePresence エンドポイント システムは脆弱です: Cisco TelePresence System 500 シリーズ、1300 シリーズ、3000 シリーズおよび 3200 シリーズおよび Cisco TelePresence System 1000 および 1100。

エンドポイントで動作しているソフトウェアの最新バージョンを判別するために、デバイスに SSH によってアクセスし、**show version** コマンドを発行して下さい。出力は次の例に類似するはずですが、システムでアクティブであるバージョンはアスタリスク文字によって示されます (*)。

```
admin: show version
primary
  Factory    CTS 1.4.2(2194)
  *Slot 1    CTS 1.7.1(4750) P1
  Slot 2     CTS 1.6.2(2835) P1
admin:
```

前述の例では、システムにバージョン 1.4.2 が、1.6.2 あり、デバイスおよびバージョン 1.7.1 でロードされる 1.7.1 は現在アクティブです。デバイスはアクティブなソフトウェア バージョンにある脆弱性からだけ影響を受けます。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2011-February-23	初回公開リリース
--------------	------------------	----------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。